

(参考) 産業財産権テキストの提供

全国各地の教育機関に無償で配布

大学生・研究者向け

< 産業財産権標準テキスト >



「特許編」
工業高校生、
工業高専生、
大学理工学部生
を対象



「意匠編」
デザイン系
大学生を対象



「商標編」
商業高校生、
大学商学部、
経営学部生等
を対象



「流通編」
工業高専生、
大学理工学
部生、大学院
生を対象

NEW



「総合編」
専門・高等教育機関の生徒・学生
を対象
「特許編」を中心に「意匠編」
「商標編」「流通編」の
各主要内容から構成

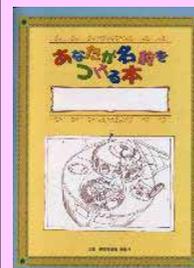
< 産業財産権副読本 >



**「特許から見た
産業発展史」**
高校生から大学生
を対象



**「アイデア
活かそう未来へ」**
中学生から
高校生を対象



**「あなたが名前を
付ける本」**
小学校高学年を
対象

大学生・研究者向け

< 産業財産権セミナー用教材 >



**「特許ワーク
ブック」**
研究成果を
適切に権利化
する特許手続き
能力を支援する
ための教材



**「ビジネス活性化の
ための特許活用」**
権利化した技術を
活用して起業家を
めざす人材に向けた
教材



**「特許ハンド
ブック」**
研究成果の
特許活用と
技術移転を
支援するた
めの教材

(参考) 知財教育の支援普及に関する調査研究(実験協力校)

- ・全国の専門高校(工業高校、商業高校、農業高校等)及び高等専門学校において、学校教育の場で産業財産権標準テキストを活用した知的財産教育の実践を促進。
- ・各校の知財教育の活動内容を事例集としてまとめ、全国の専門高校、高等専門学校に配布。
- ・本事業を通じて知財教育に取り組んだ学校から、パテントコンテストで表彰され、特許出願・取得したケースあり。(例)長崎県立大村工業高等学校

実験協力校の数

FY	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18
工業高校	17	49	64	57	54	54	44
高等専門学校		7	15	15	15	14	13
商業高校			7	17	23	21	31
農業高校				7	17	22	18
合計	17	56	86	96	109	111	106

(19)日本国特許庁(J.P.) (12)特許公報(B.1) (11)特許番号 特許第3526304号 (P3526304)

(6)発行日 平成16年6月10日(2004.5.10) (2)登録日 平成16年2月27日(2004.2.27)

(5)Int.Cl. 識別記号 F 1
A 4 7 L 13/52 1 0 1 A 4 7 L 13/52 1 0 1

請求項の数 1 (全 4 頁)

(21)出願番号 特願2003-191046(P2003-191046) (73)特許権者 303028512
赤塚 拓也
長崎県大村市板尾場1丁目439番地2
(下部のふくだ)

(22)出願日 平成15年7月3日(2003.7.3) (72)発明者 赤塚 拓也
長崎県大村市板尾場1丁目439番地2
(下部のふくだ)

審査請求日 平成15年7月3日(2003.7.3) (74)法定代理人303020299
赤塚 繁義 (外1名)

早業審査対象出願 審査官 金丸 裕之

(56)参考文献 特願2000-217762(J.P., A)
実開 昭63-78251(J.P., U)
実開 昭56-58874(J.P., U)
実公 昭44-25863(J.P., Y1)
実公 昭18-4574(J.P., Y1)

最終頁に続く

(54)発明の名称 ちりとり

(57)【特許請求の範囲】

1
【請求項1】底板上面の應挿き込み側端縁近傍箇所に、伸縮自在な凹凸を有する波状の弾性体を備えたことを特徴とするちりとり。

2
【発明の詳細な説明】
【0001】
【発明の属する技術分野】本発明は、掃き掃除に使用するちりとりに関するものである。
【0002】
【従来の技術】掃き掃除に使用するちりとりは、塵が、ちりとの前縁に筋状に残ってしまう。また、ちりとり先端の下に塵が入り込んでしまう。したがって、ちりとり全体を手前にすらいと塵は取れない。
【0003】また、実用新案公開昭63-78251には、底板上面の應挿き込み側端縁近傍箇所に、該底板の幅方向に延びる複数の条の凹溝を形成したちりとりが提案されている。
【0004】
【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記実用新案公開昭63-78251は掃き入れた塵をこぼれにくくしただけで、ちりとの前縁に筋状に残ってしまう塵を効果的に掃き入れる機能を持たない。また、従来のちりとりでは、掃き掃除に使用するとき、塵が、ちりとの下に塵が入り込んでしまう。したがって、ちりとりを掃き入れる前に、手前にすらいと塵は取れない。本発明は、決すべく創案するは、ちりとりが掃き入れ